編成とステージ

- 5名編成：リードボーカル、ギター2、ベース、ドラム。図は客席側から見た配置。
- ギターは左右に立ち、ソロ時にセンターへ出る。ベースはステージ上を移動する。
- センターにリードボーカル用マイクスタンドは置かない。インスト部分ではボーカルが下がり、ベースが前に出る。

希望バックライン

- ドラム：バスドラム1、タム2、フロアタム1、ハイハットスタンド、ストレートスタンド1、ブームスタンド2。
- ギター：アンプ2台（5150／Peavey／JCM 900 相当）と4x12キャビネット2台、または同等品。
- ベース：ヘッド（GK／Meteoro／Ampeg 相当）と4x10キャビネット、または同等品。
- アンプはマイク収音を希望。適切なバックラインがない場合は会場のDIでライン接続。

ボーカルとモニター

- バンド持ち込みの Shure BLX → XLR分岐：一方はFOHへドライで、もう一方は Boss VE-22 → Sennheiser IEM へ。
- IEMにはリードボーカルのみ。ボーカルは片耳のみイヤホンを使い、楽器はフロアモニターで聴く。
- フロアモニター5台（各メンバー1台）は会場手配。4台を前方に一列、ドラム用はキットの横。
- コーラス用マイク3本（スタンド・XLR込み、会場手配）：前方左右に2本、ドラム右側に1本。

電源と信号

- 110Vコンセント：ギター1、ギター2、ベース、ボーカルの各セットアップに計4か所、前方LED用に2か所。
- ギターのエフェクターは各ギタリストの前。ベースの固定セットアップはギター1の後方、動線の外。
- バンドはDIボックスを持ち込まない。ライン接続が必要な場合は制作側でDIを用意。

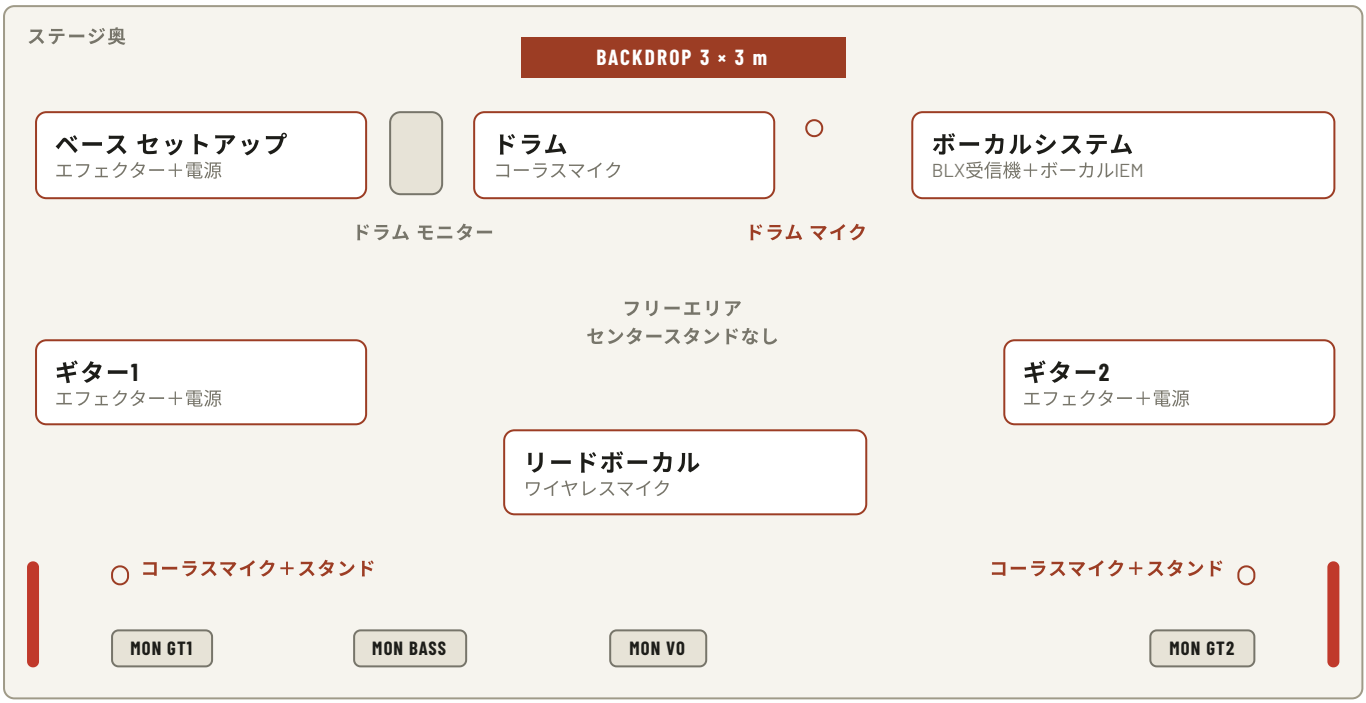
ステージ装飾

- 3×3 m のバックドロップを後方に設置。吊り構造と固定方法は制作側と事前確認。
- 赤色LEDバー2本を、ステージ前方の左右の角に1本ずつ。

事前確認事項

- ドラマーと：キット構成、ハードウェア、マイキング、ハイハット専用マイク。
- 制作側と：110Vコンセント、無線周波数、ケーブル、バックドロップの設置、モニターの最終位置。

> **技術窓口・ブッキング:** cyberpunch.metal@gmail.com · cyberpunch.com.br



- 前方に一列のモニター4台：ギター1、ベース、ボーカル、ギター2。
- ドラム用モニターはキットの横。コーラス用スタンドは前方左右。
- LEDバーは前方の角。電源：セットアップ4か所＋LED2か所、110Vコンセント。

インプットリスト（参考）

CH	ソース	収音／備考
01	バスドラム	会場マイク
02	スネア	会場マイク
03-05	タム1／タム2／フロア	会場マイク
06-07	オーバーヘッド L／R	会場マイク
08-09	ギター1／2	アンプ収音（代替：会場DI）
10	ベース	アンプ／ライン（必要時は会場DI）
11-12	サイドコーラス L／R	会場マイク
13	ドラム コーラス	会場マイク
14	リードボーカル	Shure BLX からのドライXLR

最終的なパッチは会場エンジニアと調整可能。